

当センターの職業訓練を受講後、井原精機株式会社様に正社員として就職され、制御設計をされているS様（ICTシステムサポート科 平成30年11月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、技術開発部 ロボットS Iグループ グループ長 中家 貴司様、管理部 総務グループ 総務第1グループ チームリーダー 斉藤 俊一様、管理部 総務グループ グループ長 中島 俊孝様に、S様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。

* * * * *

**新たにスキルを身に付けて、新しい職場で仕事を始めると
いう働き方もあっていいと思う。若いうちに職業訓練を前
向きに活用するといい。**

ICTシステムサポート科を受講されたS様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 電気設計・配線・組立を担当しています。井原工場がNC旋盤の自動化に取り組んでおり、そのシステムの電気関係のハード設計をしています。この2か月間は、打ち合わせ、CAD設計、有接点シーケンス、制御盤の製作を行い、現在、組立、電気を入れて動かす段階です。



◇前職は？

- 設備管理（正社員）です。プラント運転・維持管理をしていました。

◇就職されて、いかがですか？

- 入社して7ヶ月間、あっという間でした。入社時にちょうど電気系のCADが導入され、講習を受講しました。ロボットシステム事業の立ち上げに電気配線も必要だったので、立ち合うことになりました。入社日の午前に入社時の説明を受け、「誰もいなくなる。一緒に来るか。」と声を掛けられて、午後からみなさんと一緒に出張しました。

入社 2 ヶ月後から CAD で設計をし、10 月から自動化の電気関係のハード設計をしています。

CAD マシンは 1 台だったので、一人で設計しなければならなかったし、即戦力として期待されてプレッシャーがありました。面接で伺っていたので、覚悟していましたが、電気設計を 7 年、設備管理を 4 年経験したあと、弊社に入社するまでにブランクがあったので、正直なところ助走期間が欲しかったです。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 一 子供も小学生になり、手がかからなくなったので、ものづくりの業界に戻っても大丈夫かなと思いました。再就職にあたり、電気のハード設計の経験に何か新しいスキルをプラスしよう、PLC とソフト関係を使えるようになりたいことから、職業訓練を受講しました。

◇受講の目標は？

- 一 PLC の知識・技術の習得と、IT パスポート試験と基本情報技術者試験の合格でした。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- 一 工場での仕事やものづくりの仕事をするなら、ICT システムサポート科で学ぶ生産管理、シーケンス制御、ネットワークの知識・技術は、生産現場に役立つと思っていました。

◇受講していかがでしたか？

- 一 カリキュラムが広く浅く組まれているので、ひとつのことを掘り下げて学ぶことができませんでした。例えば、いろいろなプログラムを勉強しましたが、基本的なプログラムを掘り下げて、時間をかけて指導いただけたら、プログラミングの基本的な流れが習得できて、応用もできると思います。

クラスは和気あいあいとしていましたが、他のコースと違って、各々がパソコンに向かって作業するので、もっといろいろとみんなでやるような課題があってもいいのではないかと思いました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- 一 現時点ではシーケンス制御です。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- 一 いろいろ相談にのってもらいました。希望していたシーケンス制御は 6 ヶ月目にあり、担当された先生に関連の企業を教えてもらい、複数内定をいただいたときも相談しました。内定いただいた企業への返事をどうしようか迷っていたので、先生に助言いただいて助かりました。求人情報の収集や応募書類の作成等は支援を受けず、自分で行いました。

◇就職決定の決め手は？

- － 仕事内容が希望の職種であったし、給料・休日・福利厚生を含め、ベストな条件だと思いました。

◇今後の目標は？

- － 電気設計と組立を担当していますが、これからソフトもできたらいいかなと考えています。
弊社の他の工場でも実際にもものづくりを経験して、自動車部品をつくる工場に貢献し、それを実感できるようなるといいなと思っています。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － ひとつの会社で勤め上げるという働き方もありますが、私は何回か転職しても問題ないと思います。退職から次の就職までの間に職業訓練を受講して、新たにスキルを身に付けて、新しい職場で仕事を始めるという働き方もあっていいと思います。ただ、職業訓練を受講している6ヶ月間は収入が少なくなるので、経済的な余裕が必要です。
年齢を重ねると融通がきかなくなると思うので、若いうちに職業訓練を前向きに活用するといいと思います。

* * * * *

Sさんは、即戦力としてロボットシステム事業の中核になっている。

ものづくりの仕事は日本を支えていると実感できるやりがいのある仕事。若い人にどんどんトライして欲しい。

技術開発部 ロボットS I グループ グループ長の中家様、管理部 総務グループ 総務第1グループ チームリーダーの斉藤様、管理部 総務グループ グループ長の中島様に、S様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- － 自動車部品、農機具部品の製造です。エンジン、トランスミッション、サスペンシ

ョン、ステアリング、ブレーキ関連部品を製造しています。

岡山県南の工場（井原・笠岡・総社）と中国、インドネシアにて、クルマの「走る・止まる・曲がる」に関わる部品を冷間塑性加工から熱処理、機械加工、溶接・組み立てまで一貫生産を行っています。

◇採用の決め手は？

- PLC・制御設計ができることです。4月にロボットシステム事業を立ち上げ、電気関係のスタッフを必要としていたところにSさんが応募されました。20年ほど前までは、弊社は自社で設備をつくっていましたが、それ以降は購入していたので、電気関係のスタッフが全くいないという状況でした。弊社にとって、Sさんの入社はタイミングがよく、いいご縁に巡り合えました。

◇仕事ぶりは？

- 即戦力として、ロボットシステムをメインに仕事をしてもらっています。電気関係は若いメンバーがいるので、相談にものってもらっており、ロボットシステム事業の中核になっています。

◇御社が求めている人材？

- はい。仕事に対する姿勢も前向きで、弊社が求めている知識と経験があり、OJTが不要なくらいです。

◇期待されていることは？

- 弊社は現在、自動車部品、農機具部品の事業に加え、ロボットシステム事業を展開しています。ロボットシステム事業は、総社工場を拠点に、他の事業同様弊社の中核事業にしたいと考えています。現在スタッフは7名ですが、徐々に増員していずれは20名くらいにしたいと思っています。Sさんには、この事業の中核人材になってもらい、若い人材を育成して欲しいし、専門職として上の方の立場として役割を担って欲しいと考えています。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- ロボットシステム事業としては、シーケンス制御です。弊社全体としては、ICTシステムサポート科のカリキュラムの内容すべてが役に立ちます。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 弊社のロボットシステム事業としては、ロボットプログラムを追加していただきたいです。製造業は人材不足で、生産性向上の観点からロボットを導入するという流れなので、ロボットシステム、機械CAD、シーケンス制御が必要になります。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- ロボットシステム事業のグループにはいません。事業の土台ができれば、新卒者や

未経験者を採用しても対応できるかと思いますが、4月に事業を立ち上げたばかりなので、今は即戦力を求めています。未経験者の場合は、キャリア形成の観点から20代前半までの方を採用したいです。

◇採用にあたり、重視されていることは？

ー (中家様) やる気です。これに尽きます。

ー (斉藤様) コミュニケーション力と受援力です。わからないことを質問できる、困ったときは周囲に助けて欲しいと言えることが大事です。

女性の採用も積極的に行い、女性を増やしたいと考えています。10月現在で女性の割合は16%で、最近では女性の方が男性より積極的だと感じています。ロボットシステム事業には女性が2名おり、1名はロボットプログラム、1名は部品購入等を担当しています。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

ー (中家様) ものづくりの仕事は、日本の社会や経済を支えています。日本の産業の基盤であり、日本のものづくりの技術は世界に誇れる技術です。仕事を通して日本を支えていると実感できてやりがいのある仕事なので、若い人にもものづくりにどんどんトライして欲しいです。

ー (中島様) ものづくりに携わった経験のない方は、「ものづくり」と聞くと、「技術屋」をイメージすることが多いかと思われます。ものづくりの仕事は、「技術屋」だけでなく、いろいろな仕事がありますので、チャレンジして欲しいです。

井原精機株式会社

所在地：(本社) 井原市上出部町 431-3

(総社工場) 総社市真壁 1500

設立：1944年12月23日

資本金：8,000万円

従業員数：490名(2019年4月現在)

事業内容：自動車部品、農機具部品の製造(エンジン、トランスミッション、サスペンション、ステアリング、ブレーキ関連部品)

= ICTシステムサポート科担当から =

当センターでの幅広いカリキュラムについて、S様がまるで子供の様に好奇心をもつ

て目をキラキラさせて、楽しんでくださっていた姿が印象的でした。どんな課題にもきっちり向き合う誠実なお人柄ですが、新しいことを受け入れる柔らかな心、技術者として不可欠な資質を持っておられると感じていました。これからいよいよ技術者人生の本番、好きなモノづくりの分野で実力を発揮されて活躍されることと期待申し上げます。

(取材後記)

- ◎中家様、斉藤様、中島様、S様、ご多忙のところ取材にご協力いただき、ありがとうございました。お話をお伺いし、みなさまの仕事に懸ける情熱、責任感がひしひしと伝わってきました。また、社内コミュニケーションがとれていて、社員のみなさまは働きやすい職場と思っておられるのではないかと感じました。
- ◎そして、制御設計を希望し応募企業を探されていたS様、新規事業を立ち上げて制御設計ができる人材を求められていた井原精機株式会社様を“チャンスの神様”が引き合わされたのだと思えてなりません。取材後、S様が、「主に新卒者を対象とした就職面接会に行ったとき、斉藤さんが参加されていました。他のブースでは「今日は新卒のみ」と門前払いでしたが、斉藤さんだけが笑顔で「いいですよ」と話を聞いてくださいました。そのときは、勤務地が井原だったので、応募しなかったのですが。」とお話しされると、斉藤様からは「覚えているよ。総社工場に応募されたとき、あの方だとすぐにわかったよ。」とのお言葉があり、単なる偶然とは思えないご縁であり、行動すれば思いは届くのだと思いました。
- ◎自動車・産業機械部品事業に続き、ロボットシステム事業が井原精機株式会社様の大きな柱になること、そして、当センターとのご縁が続くことを願っております。

<2019年12月>